



放送大学栃木学習センター

とちの実

Tochinomi

2016
10 月号
No. 102



◆巻頭言（横田先生）・・・P2

◇学位記授与式レポート・・・P3

◆卒業生からのメッセージ・・・P4～5

◇入学者の集いレポート・・・P5

◆サークル紹介・・・P6～7

◇教務だより・・・P8～10

◆図書だより・・・P11～12

◇学習相談日程・・・P13

◆面接授業、拝見！／研修旅行報告・・・P14

宇都宮大学附属図書館前のイチョウ

◇キャンパスカレンダー・・・P15

◆公開講座案内・・・P16



※「とちの実 第102号」は10月現在で栃木学習センターに在籍している学生にお届けしています。
次号は1月上旬発行予定です（「とちの実」は年4回発行）。

～ 現代社会を支える機械 ～



客員教授 横田 和隆

「メカトロニクス」という言葉を御存じでしょうか。英語では“mechatronics”と書きますが、実はこれは和製英語です。“mechanism”（メカニズム：機構、機械装置）と“electronics”（エレクトロニクス：電子技術）を合体させた言葉です。この言葉が誕生したのは1970年代で、高度経済成長によって日本社会が大きく変貌し、人々の生活も様々な工業製品と科学技術によって便利になっていった時代です。当時、これからの機械は、歯車やバネなどの伝統的な機械部品や仕組みだけに頼るのではなく、電子部品を組み込んで機械技術と電子技術を融合してゆくことで、より高機能、多機能なものになってゆくだろう、という考え方が現れはじめ、その概念を表現するためにメカトロニクスという言葉が考えられました。

例えば時計を考えてみましょう。かつては時計と言えば精密機械の代表で、小さく精密な歯車が組み合わさり、ゼンマイを動力として動いていました。時計を分解すれば中にはそうした細かい部品が所狭しと並んでいました（私は子供の頃、親から壊れた目覚まし時計をもらって分解して遊んだりしました）。現在の時計は、壁掛け時計も腕時計も小型の電池を使い、歯車の組み合わせによるのではなく、水晶発振子の振動を基準として針を動かすクォーツ時計がほとんどですね（かつては「クォーツ式」であることを大々的に宣伝していましたが、いまでは当たり前なのであまり宣伝文句にはしません）。電池すら用いないソーラー式や、時刻合わせを自動的に行える電波時計も普及しています。つまり、時計の中の機械部品を電子部品に置き換えることで、より正確で高機能な時計が実現したわけです。

最新の機械は、さらにコンピュータを内蔵しているのが当たり前になりました。家庭にある家電製品を例にとっても、冷蔵庫、洗濯機、テレビ、エアコンなど、全てコンピュータを持っています。携帯電話、スマートフォンは、コンピュータそのものであります。70年代には、コンピュータを機械に組み込むことは技術的にはまだ夢でしかありませんでしたが、現在はそれが当然になりました。

自動車を考えましょう。コンピュータが人間のアクセル操作に対応して、エンジンの回転数や温度を検出するセンサと呼ばれる電子部品からの信号を元にエンジンを制御しています。窓の上げ下げは、昔は手でハンドルを回して行っていましたが、今はボタン一つで可能です。ドアがきちんと閉まっていなければ警告ランプが点灯します。また最近では、前方の人や車両を検出して、衝突したり事故を起こさないように自動的にブレーキがかかります。人間が一切運転しなくても自動的に道路を走り、目的地まで到着できる自動運転の車も近い将来実現しそうです。これらの機能は、自動車に内蔵された多数のセンサとコンピュータがあっちはじめて実現できるのです。

その意味では「機械技術＋電子技術」を表現するメカトロニクスという言葉は、少し時代遅れになってきました。現代の機械は「機械技術＋電子技術＋情報処理技術＋制御技術」によって成立しているものであり、それを表現するにはまた新しい言葉が必要のように思います。どなたか考えてみませんか？

— 訃報 —



前放送大学栃木学習センター所長（宇都宮大学名誉教授）海野 孝氏におかれましては、病气療養中のところ、平成28年8月2日に逝去されました（享年68歳）。ここに謹んでお知らせいたします。

平成28年度第1学期 学位記授与式 開催レポート

9月25日（日）栃木学習センター大講義室にて「卒業証書・学位記授与式」が開催されました。

はじめに井本英夫所長から卒業生に一人ずつ学位記が授与されると、会場から大きな拍手が起きました。続いて井本所長が式辞を、須藤國夫同窓会長が祝辞を述べ、卒業生を代表して渡邊幸雄さん（自然と環境）が挨拶すると、会場から改めて温かい拍手が送られました。

【栃木学習センター】 平成28年度第1学期 教養学部卒業生 31名



学位記授与式出席者19名。前列左より6番目・須藤同窓会長、井本所長、後列左より客員教員の大栗先生、司城先生、後列右横田先生。

※次頁に卒業生からのメッセージを掲載しています！HPにも掲載しています。

卒業生からのメッセージ

～ 廣田哲男さん（生活と福祉コース） ～

やっと、卒業できることになりました。ありがとうございました。長い長い8年間でした。私は優秀な学生ではなく、担当教授の先生方にはご面倒をかけました。

私が放送大学に入学することを決意したのは、亡くなった母が養護老人ホームにいたとき、面会の度に「いつ帰れるの?」と言われ、在宅介護を覚悟したときでした。高卒なので、大学卒業も魅力でした。また、定年後は高い教養知識を身に付けて、高齢者介護、介護予防、知的障がい者のサポートなどの分野で高度知識をもったボランティア活動を希望していました。

この分野は特に母のいた老人ホームの訪問で気づいたのですが、業務の必要知識度が高いにも関わらず、働いておられる方はそうでないように見えました。この分野の人材不足も関係していると思います。定年後の就職として、完熟の金のたまごになれると思ったのも理由のひとつです。

結果的に学業が遅れ、定年後はすぐに社会福祉分野に入って働くことになり、高度知識習得でなく、単位取得の学業になりました。しかし、業務の現場（知的障がい者の施設）で働いた時は持てる知識で生活支援の業務改善が出来ました。また、大田原市社会福祉協議会で働いた時は、独居老人の見守り支援で事務局として、私の住んでいた地域で初めての「見守り隊」を立ち上げることができました。知識習得は未熟でしたが、活動の原動力にはなりました。残念ながら、これからと言うときに道半ばで病で倒れてしまいました。ドクターヘリで独協病院まで運ばれ、緊急手術で助かりました。

これまでの反省としては、高度知識習得で社会福祉に貢献も大事ですが、もっと、自分の健康状態を見つめるべきでした。「医者の不養生」ではなんの貢献も出来ないということです。卒業後の活動は範囲を狭め、高齢者の介護予防の分野に絞って、ボランティア活動をしていくつもりです。

今年の6月から、大田原市の市民政策課と連携で太極拳体験講座を毎月実施していくシステムを立ち上げました。自分自身も太極拳インストラクターになりました。やると心に決めたら、必ず出来ると思いつけてきました。健康な体を維持しながら、息の長いボランティア活動をしていきたいと思っています。

これからも学業は止めることなく、来期から再入学して、情報コースに入り、ボランティア活動での広報普及に役立てるため、情報の活用と高度利用をするためにさらなる挑戦を続けていきたいと思っています。記憶力の衰えと戦い、脳トレと太極拳の筋トレで、死ぬまでボランティア活動を続けていきたいです。私の母は施設の人に見守られ、99歳老衰で亡くなりました。家族の世話になることなく逝きましたので、自分も健康で長生きして、老人ホームでも学習を続け、そのような最期を迎えたいと思っています。

～ 小林恭子さん（心理と教育コース） ～

卒業にあたり、お伝えしたいことは、既に入学された皆さんは、一步踏み出し行動を起こしたわけですから、後は継続していかれることが大切だということです。私は、入学と同時にボランティア活動に参加し、素晴らしい仲間と出会いました。大学では、魅力ある講師の先生方の講義に視野を広げることができました。そして、ともに学べる仲間もできました。学生を続ける中で様々な事が起こりますが、最初の一步を思い出して、納得の行くところまで学ばれることを期待しています。

人生の貴重な時間を大学生として過ごす意義は大いにあったと実感しています。今後の人生にこれほど影響を与えることになるとは私自身、想像できませんでした。これからも時々、人生を振り返る時がくると思いますが、充実した時間を持てたと感謝したい気持ちです。10代の時、こんな気持ちには一度もなったことはありませんでした。今、学ぶことの大切さをより多くの人に知ってほしいです。

～ 関崎正さん（自然と環境コース） ～

私は今回5コース目の卒業を迎えるにあたり、真っ先に放送大学関係者の方々に「ありがとうございました！」の言葉をお伝えしたいと思います。それは日々の学びの過程で学習センター利用時に様々な心配りをしていただき、常に最良な環境にて学習をすることができましたことによるものです。それにより、5コースの卒業と13種類の放送大学エキスパート（科目群履修認証制度）、認定心理士の取得に至りました。

特にエキスパートは、学びの目標を卒業までの一里塚のような存在として捉えることにより、学びに対するモチベーションの維持に大きな役割を果たすものと考えられ、学びの上でとても有効な存在でありました。

私にとって学びはまだまだ尽きません。

そして6コース目の入学。放送大学関係者の皆様、情報コースでも、またよろしく願いいたします。

平成28年度第2学期 入学者の集い 開催レポート



学位記授与式に続いて、13：30から「入学者の集い」を開催いたしました。

冒頭で井本英夫所長が挨拶を述べ、須藤國夫同窓会長挨拶、卒業生からのアドバイス、客員教員、事務職員紹介と続きました。会場には約50名が出席しました。

★サークル紹介★

栃木学習センターには8つのサークルがあります。参加して学生生活を充実させませんか？

放送大学で楽しむ会

スポーツクラブです。

現在の主な活動は、ボウリングとウォーキングです。

ボウリングは毎月1回、宇都宮ゴールドレーンで2ゲーム行っています。

自信のない方も楽しく活動できます！

ウォーキングは年2回を目安に活動しています。



事務局 須藤國夫さん

【活動日時・場所】センター内にある「学生サークル用掲示板」で告知します。

放送大学を愛する会 代表：須藤國夫

【放送大学で楽しむ会】の兄弟サークルです。内容は飲み会です。

お酒やソフトドリンクを飲みながら、語り合しましょう！！

【活動日時・場所】センター内にある「学生サークル用掲示板」で告知します。

英語楽習クラブ

毎日の練習で英語は話せるようになります。

日常会話、身体の具合が悪いときの伝え方等、

学校では教わらないような活きた英語を皆で楽しく学んでいます。

月1回、土曜日、多目的室(1階奥)で行っていますので、

興味のある方、活動を覗くだけでもどうぞ！

毎回、高際先生のご指導を受けています。

【活動日時・場所】学生サークル用掲示板で告知します。



代表 見山茂さん

“まち”を研究する会

まちとはどんなものなのか、

まちが抱えている問題・課題はなんなのか・・・

行政の方などと討論をしたりもします。

私たちの住んでいる宇都宮市だけでなく、栃木県全体が、どのようにしたらより住みやすくなるかを考えます。

現地調査もありますよ！会費はないです。

【活動日時・場所】学生サークル用掲示板で告知します。



代表 坂田卓さん

放送大学学生団体 栃木学習センター心理学サークル 代表：野中友則

毎月第3日曜日、13:00～16:00に活動しています。主にDVDを用いて交流分析や認知行動療法、グリーンセラピーを勉強しています。心理と教育コースの方はぜひ見学に来てください！

中国文化研究会 代表：田崎ノリ子

月1回行っています。初心者の方からベテランの方まで大歓迎です！
主に、中国語初級のテキストを用いて、中国の方から直接、発音・文法を勉強します。その他、中国の文化（お茶、食事、買い物、伝統行事）についても学びます。現在の講師は、宇都宮大学の留学生です。

動画を楽しみ、動画作成を勉強する会 代表：水沼明子

平成27年春に設立した、新しいサークルです。会員は、南は石垣島から北は北海道まで全国にいます。活動は主にFacebookメイン、インターネット上で行います。

放送大学栃木学習センター友の会

学生・教職員・所長・面接授業の先生・事務職員などの垣根を低くして意見交換の場を設けています。主な活動は、「所長とランチ」、「夕方カフェ」を各年2回。前者は、所長に参加いただき皆でお話ししています。後者は、試験最終日に客員教員の参加もいただき、試験の疲れを癒し、また客員教員・学生同士の交流と親睦を深めています。

入会はイベント毎に受付していますので、皆さんの参加をお待ちしています。 【活動日時・場所】 学生サークル用掲示板で告知します



副代表 大島富子さん

【所長とランチ】参加者募集！！

新入生・在学生と大学の交流を図るため、井本所長と一緒にランチを食べながら楽しくお話ししませんか？ 当日参加OK！

【日時】 平成28年11月12日（土）13:00～14:00 ※面接授業休憩時間

【場所】 多目的室(1階奥)

【内容】 ・所長自己紹介、学習センターの取り組み
・私の入学の動機、勉強法、大学へ希望すること（要望）などお話しください。

【申込み方法】 事務室設置の名簿に記入してお申込みください。（当日参加OKです）

【備考】 昼食は各自でご用意ください（昼食済の方もOKです）

【問合せ】 栃木学習センター事務室

連絡先：028-632-0572



●教務だより●



通信指導提出期間に ご注意ください！

通信指導問題は各教科15週の放送授業のうち、おおむね第8週までの授業内容が問題になります。



通信指導に合格しなければ、単位認定試験は受験できません



通信指導提出期間（平成28年度第2学期）

【 郵 送 】

11月16日（水）～11月30日（水）本部必着

【インターネット】

11月9日（水）10:00～11月30日（水）17:00

提出期間にご注意ください！

◆通信指導添削結果返送時期：12月末頃

■単位認定試験について

通信指導問題に合格した学生には「単位認定試験通知（受験票）」が送付されます。

◆出題形式及び印刷教材等の持込みが認められる科目について：

単位認定試験問題の出題形式には「択一式・記述式・両者併用式」があり、また科目により印刷教材の持込みが認められているものがあります。※試験の約1ヶ月前にキャンパスネットワークホームページ、学習センター掲示板に掲載します。また受験票送付時にもあわせて通知します。

◆受験票送付時期：試験日の1週間前までに送付

◆**単位認定試験日**：【大学院】1月20日(金)～1月21日(土)

【学 部】1月22日(日)～1月29日(日)

■夏季集中科目生（看護）の再試験について

【試験日】1月20日(金)

■教員免許更新講習(冬期)の募集について

【募集期間】平成28年11月1日(火)10:00～11月30日(水)17:00

※出願はインターネットによる申込みのみ（詳細は放送大学ホームページをご覧ください）

■面接授業追加登録について！

平成28年度第2学期面接授業の追加登録を10月21日(金)より開始します。10月入学生や科目登録時に登録を見送った在生も、空席状況を確認して、追加登録してみましよう。

【空席確認方法】

10月15日(土)12:00[正午]～ 栃木学習センターに掲示する他、キャンパスネットワークホームページで空席を公表します。

10月21日(金)15:00～ 栃木学習センターの掲示板を更新する他、システムWAKABAで空席状況をリアルタイムで確認できます。（詳細は、別添の面接授業日程表裏面で案内しています。）

【追加登録方法】栃木学習センターホームページ または キャンパスネットワークでご確認

ください。※追加登録の受付は、当該科目を開設する学習センター・サテライトスペースで行います



面接授業を受講する前に・・・



みなさんは、面接授業を受講する前に、時間割表や放送大学のホームページで、授業概要・教科書の有無・持ち物等を確認していますか？

最近、教科書や持ち物を忘れる方が増えています。

忘れ物があると、担当講師や他の受講生に迷惑をかけることになります。

開講日の10日前までには、一度、時間割表に目を通し、教科書・持ち物・学生教育研究災害傷害保険の加入等を必ず確認するようにしましょう。

※栃木学習センターでは、教科書の一括購入や持ち物の貸出は行っていません。

開講日までに各自ご用意くださいますよう、お願いいたします。

面接授業当日は・・・

面接授業の単位取得は、**8回の講義全てに出席すること、**

を前提としており、出席状況が成績付与に大きな影響を与えます。

授業当日、やむを得ず欠席・遅刻・早退などをする場合は、必ず担当講師または事務室にお伝えください。 担当講師等に無断で早退された場合は、受講の意思がないとみなされ、単位が付与されないことがあります。

■学生証の交付について

栃木学習センター窓口で交付しています！！

《必要なもの》

- ・ 新生および継続入学生・・・入学許可証
- ・ 在学生・・・有効期限の切れた学生証（有効期限が平成28年9月末のもの）

※なお、顔写真の登録がないと、学生証の発行ができません。

※すでに有効期限の切れた学生証（平成28年3月末以前のもの）の更新は、随時受け付けておりますので、期限切れの学生証を持参の上、栃木学習センター窓口までお越しください。

●図書・視聴学習室だより●

■放送教材・図書の室外貸出停止期間について

下記の期間は、単位認定試験に伴う放送教材・図書の室外貸出停止期間となります。

◆室外貸出停止期間◆

【大学院生】1月6日(金) ~ 1月21日(土)

【学部生】1月8日(日) ~ 1月31日(火)



※貸出停止期間中、室内貸出は通常通り行っておりますので、ご利用ください。

※貸出停止期間中は、郵送による貸出も停止になります。

※1月27日・31日は臨時閉所日となりますので、ご注意ください。

単位認定試験期間中の

図書・視聴学習室利用時間

期 間 1月20日(金) ~ 1月29日(日)

時 間 8:45 ~ 18:45

■学生図書リクエスト受付期間について

「学生図書リクエスト」とは、学生の皆さまの学習に関する図書の希望を受け付け、選定後に購入する制度です。(選定は本部が行います)

【購入対象】図書館未所蔵のもの、かつ本学における勉学に資するもの

【受付期間】平成28年12月24日(土)まで

参考にしたい本のある方はお早めにお申し込みください。

放送大学図書館HPのOPACから申し込むことができます。

また、栃木学習センター図書・視聴学習室でも申し込むことができます。

申込用紙がありますので、必要事項を記入の上、図書受付カウンターにお持ちください。

※所蔵先は本部図書館となりますので、ご了承ください。



■面接授業参考図書について

面接授業参考図書とは、面接授業を受講する前に読んでおいた方がよいものや授業を理解する上で参考となる図書のことです。(参考書の購入は、必須ではありません)

図書・視聴学習室では、学期ごとに参考図書の特設コーナーに配架しています。多くの学生に手にとっていただけるように面接授業のある学期の間はご自宅への貸出は行っておりませんので、図書室内でご覧ください。

■Pick Up！おすすめ本

図書・視聴学習室には、平成 28 年度受入れの新着図書が 53 冊あります。その中からおすすめの図書をご紹介します。（書名、著者名、出版社、内容）

『あなたの知らない心理学：大学で学ぶ心理学入門』

中西大輔、今田純雄編 ナカニシヤ出版

これから、心理学を学ぼうと考えている方に向けた本です。「心理学ってなんだろう？」から学べる、心理学の入門書を読む前の入門書です。

『マリー・アントワネットの植物誌』

エリザベット・ド・フェドー著 川口建夫訳 原書房

ヴェルサイユ宮殿の離宮に付属する庭園「小トリアノン」を舞台に、植物学、歴史学、医学、香水学、民俗学などさまざまな分野が織り成す、博学の書。（訳者あとがきより）

『知って役立つ民俗学 現代社会への 40 の扉』

福田アジオ責任編集 ミネルヴァ書房

「縁側って何？」「なぜお守りをもつのか？」といった日常の素朴な疑問から、親の介護や差別など現代の社会問題まで、40 の扉から民俗の世界を探る入門書。（本書内容紹介より）

今回、ご紹介した本は図書・視聴学習室特設コーナー「新着図書」の棚に配架してあります。貸出を希望される方は、図書受付カウンターまでお持ちください。



■センター配架希望図書募集について

平成 29 年度に栃木学習センター図書・視聴学習室への所蔵希望の図書を募集します。

栃木学習センター図書担当までお申し込みください。

【受付期限】平成 28 年 12 月 25 日（日）

【申込】2 冊まで

【対象】栃木学習センター所属の学生

書名のほかに著者名、出版社などもお知らせください。

※本部図書館選定のため、ご希望に添えない場合があります。ご了承ください。

学習相談日程 (10月~12月)

主に毎週土曜日 (13:00~17:00) に学習相談日を設けています。学習相談をご希望の方は「学習相談申込書」を記入のうえ事務室までお申込みください。

※教員の都合により日程が変更になる場合がありますのでご了承ください。

※手続きの詳細につきましてはセンターホームページまたは事務室までお問合せください。

※教員や相談内容により事前に予約が必要な場合があります。

教員名/現職	専門分野	相談日
大久保 達弘 宇都宮大学教授	森林生態学・育林学	10/15, 11/27, 12/24
大栗 行昭 宇都宮大学教授	農業経済学	10/8, 11/5, 12/3
狐塚 貴博 作新学院大学准教授	臨床心理学	10/8, 11/12, 12/10
佐々木 和也 宇都宮大学教授	衣生活環境学 繊維工学	10/29, 11/19, 12/24
司城 紀代美 宇都宮大学准教授	心理学 特別支援教育	10/22, 11/26, 12/10
高際 澄雄 宇都宮大学名誉教授	英文学 イギリス文化論	10/11, 11/5, 12/10
長谷川 光司 宇都宮大学教授	感性情報工学 音響工学	10/15, 11/12, 12/10
横田 和隆 宇都宮大学教授	ロボット工学	10/8, 11/12, 12/3
井本 英夫 栃木学習センター所長	無機化学	随時対応

専門分野とは各教員の核となる分野であり、これよりずっと広い分野の学習相談に応じることができません。

自家用車入構規制のお知らせ



宇都宮大学祭開催に伴い、
11月19日(土)・20日(日)自家用車入構規制あり

※当日、自家用車で来所される方は混雑が予想されますのでご注意ください。



面接授業、拝見！



↑小金澤正昭先生

奥日光の野生動物【平成28年度第1学期 面接授業】

毎回希望者が殺到するこの面接授業。今回も宇都宮大学の施設をお借りして開催しました。講師は宇都宮大学名誉教授・小金澤正昭先生。専門は野生鳥獣管理学です。40年以上にわたる研究の貴重なデータを使ったお話を聞くことができたので、受講生は熱心にノートを取ったり次々質問が出たりと、今回も白熱の授業でした。



グレーチングと呼ばれる溝がありました。シカなどのヒヅメのある動物が踏むのを嫌がるそうです。



シカ侵入防止柵の内側と外側で、植生がどのように違うのかよく観察しながら踏査しました。



食事の配膳や片付け、宿泊施設の掃除など、皆で協力し合っていました。

～受講した学生の声～

「本やDVDを見るだけでは得られない充実感があった。」「個人では行くことができない場所へ入り見学ができてよかった。」「長年取り組まれ研究された結果で安心して聴けた。」

学生研修旅行に行ってきました！！



平成28年9月10日（土）、学生研修旅行に行ってきました。

今年の主な訪問先は、鑿阿寺、足利学校、あしががフラワーパーク、早雲美術館、ココ・ファーム・ワイナリーです。ガイドさんの説明に皆様、熱心に耳を傾けていらっしゃいました。年齢やコースの壁を超えて、歴史や普段の学習のことについて、熱く語り合った旅行になりました。

～毎年秋にこのような研修旅行を実施しています。～

今回ご参加いただけなかった栃木学習センター所属の皆様、来年にご期待ください！

キャンパスカレンダー

10月			11月			12月		
1	土	授業開始	1	火		1	木	
2	日	大学院入試第1次選考(筆記)	2	水		2	金	
3	月	閉所日	3	木	閉所日(文化の日)	3	土	面接授業、公開講座(日光)
4	火		4	金	成績通知発送(夏季集中看護)	4	日	面接授業
5	水		5	土	面接授業	5	月	閉所日
6	木		6	日	面接授業	6	火	
7	金		7	月	閉所日	7	水	
8	土		8	火		8	木	成績通知発送(司書教諭)
9	日		9	水		9	金	
10	月	閉所日(体育の日)	10	木	面接授業	10	土	面接授業
11	火		11	金		11	日	面接授業
12	水		12	土	面接授業	12	月	閉所日
13	木		13	日	面接授業	13	火	
14	金	単位認定試験課題提出期限(司書教諭)	14	月	閉所日	14	水	
15	土	面接授業 面接授業追加登録空席発表	15	火		15	木	
16	日		16	水		16	金	
17	月	閉所日	17	木	面接授業	17	土	面接授業
18	火		18	金		18	日	面接授業
19	水		19	土	宇大学祭の為入構規制あり	19	月	閉所日
20	木	面接授業	20	日	宇大学祭の為入構規制あり	20	火	
21	金	面接授業追加登録開始	21	月	閉所日	21	水	
22	土	面接授業	22	火		22	木	
23	日	面接授業	23	水	閉所日(勤労感謝の日)	23	金	閉所日(天皇誕生日)
24	月	閉所日	24	木		24	土	面接授業
25	火		25	金		25	日	面接授業
26	水		26	土	面接授業	26	月	閉所日
27	木	面接授業	27	日	面接授業	27	火	
28	金		28	月	閉所日	28	水	
29	土	面接授業	29	火		29	木	閉所日
30	日	面接授業	30	水	通信指導提出期限	30	金	閉所日
31	月	閉所日				31	土	閉所日

放送大学栃木学習センター

■開所時間：【通常期】9:00~17:30

【単位認定試験期間】8:45~18:45

■閉所日：月曜・祝日・年末年始、1/14(土)、1/15(日)、1/27(金)、1/31(火)は臨時閉所日

〒321-0943 宇都宮市峰町 350 (宇都宮大学峰キャンパス内)

【HP】 <http://tochigi.sc.ouj.ac.jp/>

【TEL】 028-632-0572 【FAX】 028-632-0570 【E-mail】 tochigi-sc@ouj.ac.jp

イザベラ・バードと日光

日時 平成28年**12月3日**(土) 13:30~15:30

会場 旧日光田母沢御用邸(研修ホール)

アクセス: JR日光駅、東武日光駅より東武バス乗車(湯元温泉行き、中禅寺温泉行き、奥細尾行き、清滝行き)「日光田母沢御用邸記念公園」下車 徒歩1分



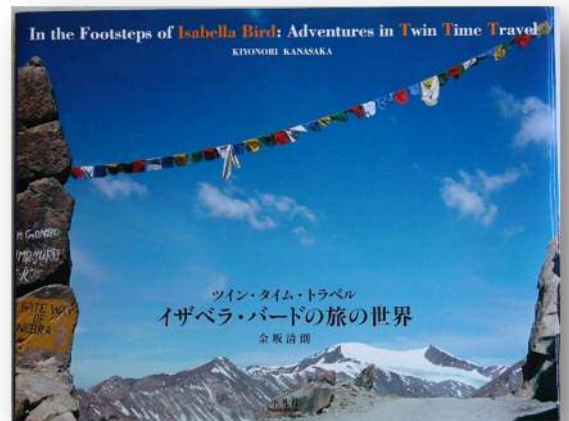
ハワイ、ハレアカラ(2010)にて
撮影: 故 金坂信子氏

講師: **金坂清則**(京都大学名誉教授、地理学者)

【プロフィール】1947年生まれ。イザベラ・バードに関する研究と写真展等の活動により王立スコットランド地理学協会特別会員、日英協会賞受賞。著訳書に「完訳 日本奥地紀行」(全4巻、日本翻訳出版文化賞受賞)、「新訳 日本奥地紀行」、「イザベラ・バードと日本の旅」ほか多数。


イザベラ・バード(1831~1904)は明治11年に日本の奥地(内地)を通訳 Ito を伴い1人で旅した英国女性である。日光では金谷カッテージイン(金谷ホテルの前身。上の写真の図)に滞在し、「独特の個性がある」と日光を高く評価している。

その著書「日本の未踏の地」は明治初期の日本を知る貴重な書物である。金坂先生はこの旅行記をはじめ、バードが日本や中国を訪れた折の成果を、地理学者ならではの詳細な訳注を付けて訳してきている。さらにバードが半世紀にわたって世界を旅した場所を、時を超えて訪れるツイン・タイム・トラベルを実行して、その成果を世界での延べ2年半に及ぶ写真展に結実させ、右の写真集を出版している。「イザベラ・バードと日本の旅」はバード理解のための必読書。



定員 **先着 80名** (一般、放送大学学生)

《お申込み・お問い合わせ》

 **放送大学** 栃木学習センター(宇都宮大学峰キャンパス内)

電話: 028-632-0572 FAX: 028-632-0570

後援: 栃木県、日光市教育委員会

